



はい!よろこんで!!

2022 June vol.62

愛媛県今治市倫理法人会(事務局) 〒793-0003 西条市西ひうち 6-12 TEL 0897-56-1930 FAX 0897-56-1986

◀今治市倫理法人会設立20周年実行委員長の権恒有政副会長(だれ?)



Special Edition 女性ならではの感性が光り輝き魅力溢れる女性月間

3月2日(水) 「今治」という場所から伝えていきたいこと

村上みお氏 来島開発株式会社 専務取締役

プロフィール/今治の高校を卒業後、関西の大学に進学。関西で就職、食品会社勤務を経て2016年今治市に本社のある来島株式会社に入社。道の駅「今治湯ノ浦温泉」の運営に携わる。地元を発信・PRしていくためにオリジナルブランドを立ち上げる。

高校卒業後、関西に出て就職しました。その後、食品会社の松山支店に勤めて、5年前に今治に帰ってきました。ふるさとに新鮮に感動しました。人が優しく、石鎚やしまなみの魅力に初めて気づきました。すでにしまなみや瀬戸内の魅力は発信されていて注目されていましたが、今治は元気がないように感じました。人脈、経験、お金もありませんでしたが、地元を盛り上げたい思いが沸き上がってきました。その思いを形にしたい。走ってしまおう。

人と会うことから始めて、色々な場所に顔を出し、1年間で2,000人と名刺交換しました。多くの人との出会いから“みおブランド”が誕生しました。今治の産物を加工して販売する。利益を上げる

のが目的ではありません。柑橘をメインに商品の企画・販売を行っています。

大三島の農家の方から「レモンが買い叩かれて困っている。1.2トン余っている」と聞いてその場で「1トン引き受けます」と答えました。レモンの魅力と大三島のパワーを感じました。レモンをハチミツ漬けにして商品に#をつけてしまなみや大三島の魅力もアピールしています。農家を訪ねて話をしますが、みかんやレモン1つとってもストーリーがあります。原石を掘り起こしていけばダイヤモンドに出会えると思っています。ダイヤは磨き方で価値が違ってきます。

今治の活性化は一人でやれるものではありません。原石を見つけるのが私の役割だとしたら、磨き輝かせるのが企業や行政だったり、共感者だったりします。夢は不可能なことでも力が合わされば現実に近い近づいていきます。道の駅を盛り上げるのも私の役割。もうすぐ高速がつながって多くの人々がやって来るようになります。みんなで共有して盛り上げていければと思います。

3月3日(木) アナウンサーだからって話が上手いわけ

じゃない〜テレビの裏側教えます〜 (特別ナイトセミナー)

吉井万結氏 アナウンサー

プロフィール/今治市出身。2013年愛媛朝日テレビ入局。2017年テレビ朝日系列ドキュメンタリー「テレメンタリー動物園が消える」にて日本民間放送連盟優秀賞受賞。現在、愛媛県、岡山県にてフリーアナウンサーとして活動中。

生まれは今治銀座商店街です。昨年までEAT(愛媛朝日テレビ)でMCをしていました。アナウンサーは華やかなイメージがあるかもしれませんが、ほとんど泥臭い世界。ネタ探し、取材交渉、アポ取り、カメラマンの発注、乗せて運転するのもアナウンサー。火事や殺人の現場にも行かなくてはなりません。夜でも行きます。原稿ができればデスクがチェック。OKが出たら編集してテロップも作ります。生放送の数分前まで編集などをやっています。「後、30秒

で本番です!」何もなかったような顔でテレビに出ます。ある日、深夜までお酒を飲んでいたら携帯が鳴りました。2:43。出る以外にありません。「伊予市で死体が出たから行け!」明日から夏休みで香港に行くとは言えず、タクシーで現場に行ったら、それが全国デビューとなりました。

私は1年目からとべ動物園の担当となりました。通って4年目にあることに気づきました。動物がどんどん死んでいる。どうしてこんなに死んでいるのか?死亡率を調べたら例年と変わっていませんでした。「特集しないか?」と言われ、2017年、タイ、中国、ミャンマーなどを取材しました。ライオン1頭100~200万円、キリンは1頭2800万円します。しかも1頭では売ってくれません。まとめ買いしないといけない。動物園に対する考えが変わりました。種の保存のための動物園。自治体が運営することの限界。視聴者の心を動かすのは現場の人の声だと思っています。

3月9日(水) FOOD×ART 「生きるアート」「食」を通じて伝えたい、コロナ禍における豊かな心とは

小林友香子氏 TORICO 代表

プロフィール/和歌山県海南市出身。今治市市民歴13年。2018年ケータリング事業を立ち上げる。並行して飲食店、企業向けの商品開発や食の企画立案、雑誌や広告関係の料理制作・スタイリングなど「食」のトータルコーディネートに従事。

和歌山県海南市出身、気候やみかんなど愛媛とよく似ています。小さい頃から食べることをすることが大好きで、食品会社を主に営業の経験が10年。レシピから売り場構成、販売促進、企画を含

めた提案営業を得意としていました。スーパーマーケットなど小売商品の販売促進から、外食業界、デパ地下デリカやパンなど業務用商品までジャンルは色々です。

2018年にさいさいきて屋で「食べておいしい」「見て楽しい」をコンセプトにケータリング事業を始めました。毎日忙しい日々を送っていました。昨年、地元の企業とウインナーケチャップの開発に取り組んで、それがアートにつながる活動になりました。ヘンゼルとグレーテルの童話をもとにケーキを作り、ドイツの郷土料理「カリーブルスト」を間伐材の木の皿に取り分けます。まわりにはポストカードやシカの骨を飾り、BGMには今治出身の左手のピアニストの音を流しました。

Special Edition 女性モーニング&ナイトセミナーシリーズ

3月16日(水) 安永優花氏 Jasmine 代表

美容を通して地域貢献・活性化活動~自分自身を大切に~
プロフィール/1996年生まれ。済美高校(スポーツ科学コース)卒業後、東雲短期大学保育科卒業。2017年児童養護施設入社、2020年彩さ美今治店入社。2021年エステ&脱毛サロン(Jasmine)開業。

Jasmine(ジャズミン)というエステと脱毛サロンをやっています。ジャズミンの花言葉は愛らしさ。花粉症やアトピーなどの一人ひとりの肌質改善エステを行っています。26歳、趣味はFC今治の試合観戦です。

バレーボールを始めて、みんなと一緒にがんばる経験ができました。中学でもバレーを続け、済美高校でもバレー部。安楽投手と同級生。バレー部のキャプテンをしました。実力主義で崖っぷちの毎日。ユニフォームを着られるのは12名。同級生メンバーが支えになってくれました。高3のときは県3位で終え、愛媛の代表選手にも選ばれました。本気で向かうからこそ悔しかったりします。バレーはチームワーク。自分の調子がよくても勝つことができない。チームワークを常に考えながらやっていました。40人の部員をどうやって引っ張っていくか葛藤していたときに、仲間頼り、後輩に面

倒をみてもらおうと考えました。メンバー全員、向上目指して切磋琢磨していました。

卒業後、児童養護施設で保育士になりました。心を閉ざした子どもたち。3歳から高3までの子どもたちが生活していました。愛情を受けていない子どもたちは高校になっても大人になっても愛情を求めます。非行に走ったり、殻に閉じこもる子どもたちが多かったです。この子たちを助けるには?女性同士心身ともにリラックスしてほしいと美容関係に転職しました。サロンは特別な空間であり、高校生から60代の方まで来てくれています。「チャンスは前頭だけに髪の毛がある」。起業して今治のよさを感じています。

最近の美容情報として、ゴムの締め付けなどで、お腹や太もみにむくみが出て来る「下着障害」と細胞にアプローチする「細胞美容」があります。年齢には実年齢、精神年齢、見た目年齢の3つがあります。老化に対して若化という言葉があります。美容を通して自分自身のケアの大切さを多くの人に伝えたい。誰かのために動けるのは素晴らしいこと。人のために動くには健康が大切です。自分が笑顔でまわりの人も笑顔にできる美容。まだまだ未熟ですが、地域と関わることができたらと思っています。

3月23日(水) 橋本幸子氏 鳥生地域食堂れんこん ボランティア代表

地域食堂と子どもたちの現状

プロフィール/美容師。2007~2019年鳥生地区民生主任児童委員。2019~現在鳥生小学校ハートなんでも相談員。学習支援(不登校・不登校傾向等の子ども対象)スタート。2020年鳥生子ども家庭サポートネットワークスタート。2021年みんなの食堂開店。

子ども食堂は今治市内に10か所程あります。「利用は子どもだけですか?」と聞かれますが「誰でも気軽にお越しください」と伝えています。子どもから高齢者まで、すべての人の孤立(孤食)をなくすことを目標に活動しています。私が子どもの頃、鳥生地区はれんこん畑が広がっていました。それで、「鳥生地域れんこん食堂」を立ち上げ、みんなで集い、話し合い、支え合う地域づくりをしています。始めたきっかけは2015年頃、民生児童委員をやっていて、活動の一つに赤ちゃん訪問があり、今治での子育てを見聞きする機会がありました。外国から来た奥さんは日本語がしゃべれない。他県から来られて子育てにとまどってらっしゃる方もいました。保護者がうつで、子育てが困難な人や大人の発達障がいの

人、ダブルワークの人など見回りだけではわからないことが多かったですね。その頃、全国に子ども食堂ができて始めました。2017年有志が集まって「鳥生地域れんこん食堂」の活動がスタートしました。子ども中心のうどんづくりやもちつき大会、夏休み宿題大会には92名の参加がありました。鳥生小学校の児童は500名程なので、5人に1人が集まってくれたことになります。サイクリストの交流会や春祭り屋台村などのイベントも行っています。イベント終了後、子どもたちと一緒に食事を摂り「困ったときは安心して参加してね」と伝えています。参加できなかった子どもたちには、うどんやおもちを届けています。次回パンパン豆の実演を計画していたときにコロナ禍になり、大きなイベントができなくなりました。一緒に食事ができないので、お弁当をテイクアウトします。200~400食を配ります。10~70代のボランティアの方たちが手伝ってくれています。マンションの1室を提供していただき、支援いただいた食品や物資をおすそわけする「縁結び」の活動も始めました。子どもは未来から贈られた宝物です。これからも地域で支える体制作りに取り組んでいきたいと思っています。

3月30日(水) 青野多賀乃氏 青鬼運送株式会社 代表取締役専務

「家業と人生」~今の私にできる事を~

プロフィール/1963年菊間町生まれ。松山東雲学園中学・高校卒業後、東京女子体育大学(短大)入学。在学中1982~1983年新体操日本代表チーム団体メンバー。卒業後、母校にて後進の指導等にあたり、1986年結婚と同時に青鬼運送に入社、現在に至る。2019年より公益社団法人今治法人会女性部会 会長。

弊社(青鬼運送)は大正8(1919)年の創業で、今年で103年となります。開港前の港で馬車や馬などで石炭や繊維などを運んでいました。弊社に4代目の妻として嫁いで来た私は菊間町生まれ。小さく生まれたのでいつも全力投球でした。中学から松山東雲学園に通いました。部活は新体操。高3で迎える大会は日本一を目指して東京女子大の先生のもと練習を重ねました。電車で寝てしまっただけの乗り過ごした駅には父が待っていました。結果は団体5位。残念な結果でした。体育大学進みたいと言うと反対され、2年だけなら東京女子体育大学(短大)に進みました。4年分の努力を2年しようと上京しました。

朝練が終わると授業。スポーツ医学など座学もありますが、ほと

んどが実技。バレーボールや体操など将来、指導者になれるようにと厳しい授業でした。体は毎日クタクタでした。新体操の部員は学年で100人位。代表となるのは12名。最終的に代表となり、日本代表団体メンバーになりました。練習漬けの毎日で、成人式や姉の結婚式にも出ることもありませんでした。初めてロサンゼルス五輪で新体操が採用され、4年生だった山崎浩子さんが出場し、個人8位でした。卒業後、母校で後輩の指導にあたっていたとき、お見合いを勧められ、青野賢治と結婚、弊社に入社しました。夫はいいねいな仕事を心がけ、確実な運搬も評価いただいていた。私は事務として応援し続けていました。夫は2008年、52歳の正月に心不全となり、闘病生活となりました。私が変わったのはこのときから。男社会の現場を主人と相談しながら運営しました。支えてくれたのが子どもたちでした。娘は看病や家の事をすべてやってくれました。2014年夫の死去により専務に就任しました。弊社が地域で求められるようがんばりたいですね。天国で主人に会ったとき「いい顔になったな」と言われるよう精進したいと思っています。